

## 1. 本会ホームページの「会員校専用ページ」からログインする

セミナー・シンポジウムのお知らせ  
Seminar & Symposium [一覧を見る >>](#)

- > 2013/10/15 [DNGL 学際及び産官学連携PT リレーセミナー:「赤十字の救援活動の取り組みと今後の課題」\(11月26日\)のご案内](#) **NEW**
- > 2013/09/28 [EBM & Nursing Workshop開催\(11月16日~17日\)のご案内\(聖ルカ・ライフサイエンス研究所・聖路加看護大学看護実践開発研究センター共催\)](#) **NEW**
- > 2013/09/10 [INDEN:Kim先生講演のご案内\(10月4日\)](#)
- > 2013/09/10 [DNGL国際セミナーのご案内\(10月2日\)](#)
- > 2013/09/04 [Global Oncology Nursing Seminar開催のお知らせ\(10月5日\)\(筑波大学 国際がん看護セミナー\)](#)
- > 2013/08/30 [第5回シンポジウム開催のお知らせ:日本学術振興会 最先端・次世代研究開発支援プログラム「高度実践看護師\(CNS\)を核とした新たな医療提供システムへの提言」\(11月17日\)](#)
- > 2013/08/29 [Nursing Education in Korea March 13-14, 2014\(abstract提出の〆切: 11月30日\)](#)

ナビゲーションメニュー:

- >> 看護学教育評価検討委員会
- >> 見解・声明
- >> ガイドライン等
- 看護職を目指す方へ  
高校生とその保護者の方へ >>
- 大学・大学院で看護を学びたい方へ  
社会人、既に看護職の方へ >>
- >> 一般社団法人日本看護系大学協議会  
会員校専用ページログイン**

ここからログイン

## 2. 各会員校の ID/PW でログインする

一般社団法人  
**日本看護系大学協議会**  
Japan Association of Nursing Programs in Universities

会員校専用ページログイン

ログインID

パスワード

**ログイン**

※ IDとパスワードについては、各会員校の社員(=代表者)にお問い合わせください。

閉じる Copyright © Japan Association of Nursing Programs in Universities. All rights reserved.

3. 「会員校メニュー」上から3番目のボタンを選択する

会員校メニュー

電子名簿

- 【2011/10/3:リニューアル】【1】ログイン履歴の記録。【2】会員校情報の変更内容が自動的に事務局にメール送信。【3】窓口担当者情報の追加(必須)【4】検索機能の変更・追加  
1)地域の詳細な条件指定(会員校のみ)、2)年度をまたぐ検索、3)検索条件の修正/クリア機能等、繰返し検索可能。

看護系大学の教育などに関する実態調査

- 【10月15日:重要:追加説明】3ページ質問3~5の専門看護師課程に関する数字は、本会が認定しているもののみを記入して下さい。
- 【10月7日:訂正案内】ホームページ新着情報(10/8付)参照
- 【9月20日:更新案内】操作マニュアル、調査票(未記入)、記入例を更新。【1】設問2-4)対象年度を2011年度→2012年度に訂正。【2】設問7:研究活動について注記を追加。
- 【9月10日:事前案内】入力期間:9月24日(火)~10月21日(月)約1か月間

会員校メニューの3番目を選択

平成25年度文部科学省先導的  
大学改革推進委託事業調査

- 研究テーマ「超高齢社会に向けて地域在宅における患者家族の療養生活を支える基礎的能力育成への看護系大学の取り組み」
- 入力期間:10月21日(月)~10月31日(木)(約2週間)

閉じる

Copyright © Japan Association of Nursing Programs in Universities. All rights reserved.

4. 左バナーの「調査票」またはHOME画面下ボタンを選択する。(どちらからもスタートできます)



一般社団法人  
日本看護系大学協議会  
JANPU: Japan Association of Nursing Programs in Universities

処理メニュー

- HOME
- 調査票**
- 調査協力のお問い合わせ(公文書24号)
- 調査回答内容の閲覧
- ウィンドウを閉じる

平成25年度文部科学省先導的  
大学改革推進委託  
調査協力のお問い合わせ  
研究題目: 超高齢社会に向けて地域在宅における患者家族の療養生活を支える基礎的能力育成への看護系大学の取り組み  
平成25年10月31日(木)までにご回答ください。

看護学教育評価検討委員会では、平成25年度文部科学省先導的  
大学改革推進委託「医療提供見直しに対応する医療系教育実施のためのマネジメントの在り方に関する分担を受け、次の二つの調査を計画致しました。

①看護系大学を対象とする地域在宅における患者と家族の療養生活を支える看  
多職種多機関連携協働のあり方を含む教育の実践と課題に関する調査  
⇒本ページの調査はこちらです。

②先進的な試みを実施している大学への聞き取り調査(別に実施します)  
⇒こちらは3校程度を予定しております。

これらの調査結果をもとに、ケア環境とチーム体制整備に関する実践能力向上のた

⇒本ページの調査はこちらです。

②先進的な試みを実施している大学への聞き取り調査(別に実施します)  
⇒こちらは3校程度を予定しております。

これらの調査結果をもとに、ケア環境とチーム体制整備に関する実践能力向上のための教育方法を検討し、高齢化社会の進展に向けて、地域の医療提供体制見直しに対応した看護職人材養成につながる提言をまとめることとしております。

連携協働の主要なパートナーである医学分野、歯学分野と共に、合同公開シンポジウムを開催し、会員校の皆さまと共有する機会を12月5日(木)に予定しています。

詳細については決定次第、メールや本会ホームページ上に掲載して皆様にお知らせを致します。

本調査は、日本赤十字看護大学研究倫理審査委員会の承認(承認番号2013-75)を受けて実施するものです。

【お問い合わせ先】

- 調査内容について  
日本赤十字看護大学 佐々木 茂美 [i-sasaki@redcross.ac.jp](mailto:i-sasaki@redcross.ac.jp) 03-3409-0722  
日本赤十字看護大学 西田 朋子 [t-nishida@redcross.ac.jp](mailto:t-nishida@redcross.ac.jp) 03-3409-0918
- IDやパスワードに関すること  
一般社団法人日本看護系大学協議会事務局  
e-mail: [office@janpu.or.jp](mailto:office@janpu.or.jp) 電話: 03-6206-9451 FAX: 03-6206-9452

**調査スタート**



一般社団法人

日本看護系大学協議会

JANPU : Japan Association of Nursing Programs in Universities

## 平成25年度文部科学省先導的の大学改革推進委託事業

## 調査協力をお願い

研究題目：超高齢社会に向けて地域在宅における患者家族の療養生活を支える  
基礎的能力育成への看護系大学の取り組み

平成25年10月31日（木）までにご回答ください。

[HOME](#)[調査票](#)[一時保存する](#)[調査協力をお願い  
\(公文書24号\)](#)[調査回答内容の閲覧](#)[ウィンドウを閉じる](#)

確認する

一時保存する

貴学及び回答者ご自身について、お答えください。

大学名	日本赤十字看護大学看護学部看護学科
設置主体	私立
1. 貴大学における学部、学科の設置についてお答えください	<input type="radio"/> ①複数の学部をもつ <input type="radio"/> ②1学部で複数の学科をもつ <input type="radio"/> ③1学部、1学科である(単科大学)
2. 1学年学生定員についてお答えください	<input type="text"/> 名
3. 回答者についてお答えください	<input type="radio"/> ①学長 <input type="radio"/> ②学部長 <input type="radio"/> ③学科長 <input type="radio"/> ④教務委員長 <input type="radio"/> ⑤その他(具体的に: <input type="text"/> )

1. 「超高齢社会に向けて、患者・家族の療養生活を支えるための保健医療福祉の支援のあり方」に関する、貴学における学習のねらいと機会、および実施方法についてお尋ねします。

1. 「患者の在宅療養支援」に関する学習のねらいと機会についてお尋ねします。

1) 平成23年3月に文部科学省から「大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会 最終報告」として出された答申において、「学士課程教育においてコアとなる看護実践能力と卒業時到達目標」が策定されました。以下の項目はそのIV群。ケア環境とチーム体制整備に関する実践能力のうち、15)と17)の学習成果として示されたものです。

学習のねらいについて、貴学が重点をおいている程度をご回答ください。

3: かなり重点をおいている、2: ある程度重点をおいている 1: あまり重点をおいていない、0: わからないのうち、最も近いものを1つだけ選択してください。

【学士課程においてコアとなる看護実践能力と卒業時到達目標】	3 かなり	2 ある程度	1 あまり	0 わからない
15) 地域ケアの構築と看護機能の充実を図る能力				
17) 保健医療福祉における協働と連携をする能力に挙げられている学習成果				
1 地域で活動する多様な集団やNPOなどの組織、及びそれらの活動について理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 ケアのネットワーク、支援システムの構築の方法について理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 対象者に必要なケアについて、関連機関や支援者と連携・調整する方法について理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 地域の健康を促進し、管理する方法について理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 当事者グループの集団の特質や機能について理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 地域における組織や当事者グループを看護専門職者として育成し、支援する意義や方法について理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

7 地域における日常的な健康危機管理の重要性と看護の活動・役割について理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 チーム医療、保健医療福祉チーム員の機能と専門性、チーム医療の中での看護の役割について説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 チーム医療の中での責務として、情報の共有と守秘義務、対象者を中心とするチーム医療の構築方法について説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 チーム医療の中での、相互の尊重・連携・協働について説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11 チーム医療の中で効果的な話し合いをするための方法について説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12 在宅医療を推進するために、保健医療福祉機関の連携・協働を含めた看護の活動・役割について説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13 ケアマネジメントやチームの連携方法について説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14 継続看護、退院支援・退院調整など、地域の関連機関と協働関係を形成する看護援助方法について説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15 病院、保健所、市町村保健センター、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、診療所、学校、職場などとの連携の必要性について説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16 同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションをとる必要性を理解し、指導の下で実践できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17 チームの一員として、報告・連絡・相談の必要性を理解し、指導の下で実施できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

2)「講義」「演習」に、非常勤・特別講師等で招いている方と主な依頼内容を教えてください。(複数回答可)  
招いている方に☑をつけて、その方への主な依頼内容を具体的にご記入ください。

<input type="checkbox"/> 1. 医師	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 2. 歯科医師	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 3. 行政保健師	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 4. 地域包括支援センター保健師	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 5. 訪問看護ステーション看護師	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 6. 専門看護師	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 7. 認定看護師	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 8. 退院調整室・地域連携室等の看護師	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 9. 介護福祉士	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 10. 社会福祉士	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 11. 精神保健福祉士	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 12. 理学療法士	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 13. 作業療法士	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 14. 介護支援専門員 (ケアマネージャー)	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 15. 薬剤師	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 16. 栄養士	<input type="text"/>

<input type="checkbox"/> 17. 生活相談員	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 18. 患者・家族	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 19. 在宅療養に関する業者	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 20. その他 <input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 21. 誰も招いていない	

## 3) 学習形態としての「実習」についてお聞きします。

(1)「実習」を行っている場をお答えください。(複数回答可)	
<input type="checkbox"/> 1. 病院:地域連携室や退院調整室など	<input type="checkbox"/> 2. 病院:外来
<input type="checkbox"/> 3. 在宅主治医のいる診療所	<input type="checkbox"/> 4. 保健所
<input type="checkbox"/> 5. グループホーム	<input type="checkbox"/> 6. 訪問看護ステーション
<input type="checkbox"/> 7. 地域包括支援センター	<input type="checkbox"/> 8. 介護老人保健施設
<input type="checkbox"/> 9. 特別養護老人ホーム	
<input type="checkbox"/> 10. その他	<input type="text"/>
(2)「実習」において、教員の他に学生の指導にあたる方をお答えください。(複数回答可)	
<input type="checkbox"/> 1. 医師	<input type="checkbox"/> 2. 歯科医師
<input type="checkbox"/> 3. 行政保健師	<input type="checkbox"/> 4. 地域包括支援センター保健師
<input type="checkbox"/> 5. 訪問看護ステーション看護師	<input type="checkbox"/> 6. 専門看護師
<input type="checkbox"/> 7. 認定看護師	<input type="checkbox"/> 8. 退院調整室・地域連携室等の看護師
<input type="checkbox"/> 9. 介護福祉士	<input type="checkbox"/> 10. 社会福祉士
<input type="checkbox"/> 11. 精神保健福祉士	<input type="checkbox"/> 12. 理学療法士
<input type="checkbox"/> 13. 作業療法士	<input type="checkbox"/> 14. 介護支援専門員(ケアマネージャー)
<input type="checkbox"/> 15. 薬剤師	<input type="checkbox"/> 16. 栄養士
<input type="checkbox"/> 17. 生活相談員	<input type="checkbox"/> 18. 患者・家族
<input type="checkbox"/> 19. 在宅療養に関する業者	
<input type="checkbox"/> 20. その他	<input type="text"/>

## 4) この教育に携わる教員の構成についてお尋ねします。該当するほうを選択して下さい。

1. 地域看護学もしくは在宅看護学の教員だけで実施している  2. 他の領域も協力・分担している

⇒「2. 他の領域も協力・分担している」を選択した方は、以下より関係する全ての領域に☑してください。

<input type="checkbox"/> 基礎看護学	<input type="checkbox"/> 成人看護学	<input type="checkbox"/> 老年看護学	<input type="checkbox"/> 小児看護学	<input type="checkbox"/> 母性看護学	<input type="checkbox"/> 精神看護学
<input type="checkbox"/> その他	<input type="text"/>				

## 5) 教育を実施する上での課題等を自由にお書きください。

<input type="text"/>
----------------------

## 2. ここでは、特に「地域在宅支援における多職種間の協働連携」に関して、貴学における学習の機会についてお尋ねします。以下の選択肢より、該当する項目を選択してください。

## 1) 職種間連携の学習機会の有無についてお尋ねします

- ①学習機会を設けている⇒2)にお進みください  ②設けていない⇒3)にお進みください

## 2) 協働連携の学習機会を設けている大学に、その方法をお尋ねします。該当する項目を☑して、具体的な工夫については自由記載欄にお書きください。(複数回答可)

<input checked="" type="checkbox"/> 同大学の医系の他学科と共同で授業(講義・演習等)を行っている
<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 他大学の医系の学科と共同で授業(講義・演習等)を行っている

実習で多職種間の協働連携の具体的な場面を見学する機会をつくっている

訪問看護に限らず、小児や精神など、さまざまな領域における協働連携について工夫している

その他、協働連携の学習機会をつくっている

3) 学習機会を設けていない大学に、その理由をお尋ねします(1つのみ選択)

- ① 学士課程での学習の必要性を感じていない     ② 必要性を感じているが、実施が困難である

⇒②を選択した方は、その理由を具体的にお教えてください。

II. 学士課程においてコアとなる看護実践能力と卒業時到達目標で、以下の学習内容が示されました。貴学で授業(講義・演習・実習)に含んでいるか含んでいないかを選択してください。

	1 含ま れて いる	2 含ま れて いな い
チーム医療	○	○
保健医療福祉チーム員の専門性と相互の尊重	○	○
チームのなかでの看護専門職の役割	○	○
リーダーシップ	○	○

カンファレンスの運営方法	○	○
情報の共有	○	○
継続看護	○	○
在宅医療と社会制度	○	○
在宅医療推進と看護活動	○	○
保健医療福祉機関の連携・協働	○	○
ケアマネジメント	○	○
家族を含めた対象者中心の連携	○	○
退院支援・退院調整	○	○
地域包括支援センターとの連携	○	○
訪問看護ステーションとの連携	○	○
地域保健・産業保健・学校保健との連携	○	○
個人・グループ・機関との調整	○	○
ケアネットワークづくり	○	○
支援システムの構築	○	○
地域組織活動	○	○
地域ケアの体制づくり	○	○

### III. 超高齢社会に向けた地域在宅における患者と家族の療養生活を支えるための教育に関する現状、今後の展望や課題について自由にお書きください

貴大学では、超高齢社会に向けた地域在宅における患者と家族の療養生活を支えるための教育として、どのような取り組みをしていますか？どのようなことでも結構です。ご自由にお書きください。

超高齢社会に向けた地域在宅における患者と家族の療養生活を支えるための教育において、貴大学において学生は具体的にどのような体験をしていますか。例えば、認知症患者へのケア、看取りなど(そのほかのことで具体的なことをお教えください)について、学生が体験していることをお教えください。体験の内容に合わせて、体験の形態(たとえば、学内での演習、シミュレーション、模擬患者、実習で、など)についても詳しくお教えください。

超高齢社会に向けた地域在宅における患者と家族の療養生活を支えるための教育として、貴大学でお考えになっているビジョン、課題と考えていることを自由にお書きください。

---

---

確認する

一時保存する

終了

Copyright © Japan Association of Nursing Programs in Universities. All rights reserved.